

# 東久留米市中学校授業改善研究会（第二回英語部会）

平成19年6月20日  
東久留米市立久留米中学校  
司会 \_\_\_\_\_（東中）  
記録 \_\_\_\_\_（南中）

## 1 研究テーマ

「生徒の意欲を引き出す授業づくりを目指して」  
（少人数授業の効果的な進め方を通して）[第二回]

## 2 授業改善研究会の予定

第1回 平成19年5月30日（水）

第2回	平成19年6月20日（水）	研究授業・研究協議
	研究授業【授業者 荒光 真衣先生（久留米中）】	
	司会 東中	記録 南中

第3回 平成19年9月19日（水） 研究授業・研究協議  
研究授業【授業者 上堤 郁香先生（西中）】  
司会 大門中、 記録 中央中

第4回 平成19年 月 日（ ） 研究授業・研究協議  
研究授業【授業者 西 伸一郎先生（下里中）】  
司会 、 記録

第5回 平成20年2月13日（水） 講演会

## 3 少人数・習熟度別授業の基本的な考え方

### (1) 都は指導方法の在り方をTTから少人数にシフト。

- ・平成14年度、文部科学省は「学びのすすめ」の中で、「少人数授業・習熟度別指導など、個に応じたきめ細かな指導を推進し、基礎・基本の確実な定着や自ら学び自ら考える力の育成を図る」ことを提言した。
- ・英語科は学習の過程において学力差が出やすい教科であり、中学校入学の時点で、基礎・基本が身に付いていなかったり、初期の段階から不適応を起こしやすい教科でもある。このような実態を踏まえ、少人数・習熟度別学習の充実を図る必要がある。
- ・一人一人の学びの違いに着目し、きめ細かな支援を行う体制を整え、生徒の実態を把握し、それに合わせた教材の作成、指導法・評価の工夫などに重点を置くことが大切である。また、習熟度別学習集団の編成を定着させる過程で、その準備段階として「生徒同士の良好な人間関係作り」「生徒一人一人の良さを認め合う心の教育」の推進を図ることが不可欠である。
- ・教科指導はその教科の学力を身につけさせることが目的であるが、それは同時に生徒の人格形成をも担うものである。教師と生徒さらに生徒相互の信頼関係づくりを基盤として、原点に立ち戻ることも重要な要素である。

### (2) 具体的な授業の進め方

- ・生徒一人一人の習熟の程度に応じるなどのきめ細かな指導を一層充実させるためには、何よりも生徒の学力評価を教師の指導改善に直結させることが重要である。言い換えれば、学力評価の機能化を図った指導改善による学力向上を行う。
- ・授業時数の確保はもちろん、よりきめ細かな指導計画と個人差に応じた指導体制の必

